

上部消化管内視鏡検査の説明・同意書

【検査方法】 検査日時 年 月 日 時 分

・経鼻

鼻と喉に局所麻酔をした後に直径5mmの細い内視鏡を鼻から入れて、食道・胃・十二指腸を検査します。一般的には鼻から入れたほうが口からよりも嘔吐反射が少ないです。稀に鼻が狭くて内視鏡が入らないことがあり、その場合は鼻出血や痛みを防ぐために無理をせず口から内視鏡をいれて検査することがあります。

・経口

喉の局所麻酔をした後に口から内視鏡を入れて、食道・胃・十二指腸を観察します。

希望する方には、嘔吐反射を抑えるため静脈麻酔（全身麻酔）を使用することもできます。

【検査までの準備】

1. 午前中検査の場合は、検査前日の夜9時以降、（検査前日より飲酒不可）
午後からの検査の場合は、検査6時間前からのお食事は召し上がらないで下さい。
お茶、お水、スポーツドリンク等の水分補給は構いません。
(コーヒー、牛乳、野菜ジュース等色の濃いものは検査に影響が出る場合がある為不可です。)
検査1時間前からは、絶飲食になります。
2. 現在治療中の疾患がある方や、定期的な内服薬がある方は注意点があるのでお申し出ください。
※高血圧、心臓病のお薬を内服中の方は朝7時までに内服してください。
血糖を下げる薬を内服されている方、インスリン注射している方は使用しないでください。(種類によっては継続しての使用が必要なお薬もありますので、主治医に相談が必要な場合もあります。)
血液をサラサラにする薬(抗血小板剤・抗凝固剤)を内服中の方は、内服可能です。ただし種類や量によって組織検査や、ピロリ菌の検査が行えない場合があります。検査をご希望の方は、必ず主治医へご相談の上指示を仰いでください。**自己中断はされないようお願い致します。**

検査当日は時間に余裕をもつていただくようお願いいたします。

【検査の実際】 万が一のため、汚れてもよい服装でご来院下さい。

1. 前処置をしてから胃カメラ検査をします。胃の中の泡を消す薬を内服します。
2. 鼻からの内視鏡検査の場合は、鼻に出血予防の薬と局所麻酔、鼻を広げる処置をいたします。口からの内視鏡の場合は不要です。
3. のどの麻酔をします。
4. 検査は5分程度で終了しますが、病変が見つかり詳細な観察が必要な際には、時間を要する場合があります。誤嚥を防ぐため検査中に口の中に溜ってくる唾液は飲み込まずに垂れ流してください。
5. 検査中に異常が疑われる場合は、色素撒布、生検ピロリ菌チェックなどの精密検査を行います。
6. 飲食はのどの麻酔が取れ、飲み込む反射(嚥下反射)が正常に戻るまで(約1時間)お待ちください。生検検査を行った場合は食事開始時間が変わる場合(約2時間後)がある為検査後の説明にしたがってください。

【起こりうる偶発症】(十分に注意しても「絶対にない」と言い切れないもの)

1. カメラがこすれることや嘔吐による喉から十二指腸までの、粘膜裂傷、出血、穿孔(穴があくこと)
2. 粘膜組織の一部を採取すること(生検)による出血
3. 使用する薬剤(咽頭麻酔・鎮痙剤・鎮静剤)によるアレルギーショック・低血糖・不整脈など
4. 咽頭の損傷-穿孔・誤えん性肺炎
5. 治療中の病気(脳梗塞・心筋梗塞)の悪化、日本消火器内視鏡学会が行った第5回全国集計(2010年)では、これらの合併症は0.005%、死亡例も0.00019%と報告されています。

このような偶発症を避けるべく細心の注意を払いますが、万が一発生した場合には最善の対処をいたします。ただし止むなく処置(入院、手術を含む)が必要になった場合に医療費は患者さんの負担となりますのでご了承ください。

6. 挿入方法の内、経口希望の方で歯を治療中の方やぐらついた歯がある方は、検査中にマウスピースを咥えた際に歯が折れたり欠けたり飲み込んでしまう可能性がございます。

【鎮静剤の使用について】

当クリニックでは内視鏡検査を行う際に、必要に応じて鎮静剤を使用する場合があります。

鎮静剤は、検査の際に緊張を和らげ、検査を楽に受けて頂くために使用します。方法は静脈注射になりますが、静脈炎(血管の周囲が赤く腫れたり痛みを伴う)を起こす事があります。また、**呼吸循環抑制を起こすので、指先で血液中の酸素濃度をモニターしながら検査を行います。**

鎮静剤を使用した場合は、十分に休んで(30分から1時間)帰宅していただきます。しかし、その後も眠気が残り判断力が低下することがあります。**当日車やバイク、自転車で来院された場合、鎮静剤は使用できません。**ご希望の方は公共機関での来院をお願いいたします。また、当日に車やバイク、自転車の運転の予定を入れないようにしてください。ご本人の状況によっては希望に関わらず当院検査実施医の判断で麻酔施行不能の判断をさせていただく事もあります。

【上部消化管内視鏡検査の費用について】

| | | | | |
|-------------|------|---------------|----|--------|
| 胃カメラのみ | 3割負担 | 4000~6000円程度 | 自費 | 16000円 |
| 胃カメラ+病理組織検査 | 3割負担 | 7000~12000円程度 | | 40000円 |

上記の事柄について説明を受け、十分に理解しましたので、その実施に同意致します。

- ① 観察が必要な際、生検を希望する。
 生検を希望しない。
 医師の判断に任せます。
- ② 静脈麻酔(全身麻酔)を希望します。 深い麻酔 または 浅い麻酔
 静脈麻酔を希望しません。
 医師の判断に任せます。
- ③ 経口を希望します。
 経鼻を希望します。

説明年月日： 年 月 日 説明医師： 行徳 芳則

受診者署名： _____

受診者代理人署名： _____ (続柄：)

*受診者(または親権者)の署名がある場合は不要。